

学習指導要領		北豊島工業高校 学力スタンダード
<p>(1) 指数関数・対数関数</p> <p>ア 指数関数 (ア) 指数の拡張 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解すること。</p> <p>(イ) 指数関数とそのグラフ 指数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用すること。</p> <p>イ 対数関数 (ア) 対数 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすること。</p> <p>(イ) 対数関数とそのグラフ 対数関数とそのグラフの特徴について理解し、それらを事象の考察に活用すること。</p> <p>ア 角の拡張</p> <p>(2) 三角関数</p> <p>イ 三角関数 (ア) 三角関数とそのグラフ 三角関数とそのグラフの特徴について理解すること。</p> <p>(イ) 三角関数の基本的な性質 三角関数について、相互関係などの基本的な性質を理解すること。</p> <p>ウ 三角関数の加法定理 三角関数の加法定理を理解し、それを用いて2倍角の公式を導くこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指数法則が成り立つように、指数を正の整数から有理数、実数まで拡張して、指数関数を扱えるようにする。 ・指数関数のグラフとその性質を理解することができる。 ・指数関数のグラフを利用して、指数の大小から実数の大小を調べることができる。 ・指数関数を含む方程式や不等式を解くことができる。 ・対数の意味と性質について理解し、簡単な対数の計算をすることができる。 ・指数関数から対数の性質を導き、グラフがかけられるようになる。 ・対数関数のグラフを利用して、対数の値の大小を調べることができる。 ・常用対数を用いて、桁数を求めることができる。 ・角の概念を一般角まで拡張し、弧度法による角度の表し方について理解することができる。 ・三角関数のグラフやその周期性について理解し、基本的なグラフがかけられるようになる。 ・三角関数について、相互関係などの基本的な性質を理解することができる。 ・三角関数の加法定理を理解し、それを用いて三角関数の値を求めたり、2倍角の公式が使えるようになる。 	

学習指導要領		北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>(3) ア 微分の考え 微分・積分の考え</p> <p>(ア) 微分係数と導関数 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。</p> <p>(イ) 導関数の応用 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかくこと。また、微分の考えを事象の考察に活用すること。</p> <p>イ 積分の考え</p> <p>(ア) 不定積分と定積分 不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分を求めること。</p> <p>(イ) 面積 定積分を用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平均変化率の意味を理解し、その極限の考え方から微分係数や導関数の意味を理解することができる。 ・x の n 乗の導関数、和・差・定数倍の公式等を用いて、いろいろな導関数が求められようになる。 ・接線の方程式を求めることができる。 ・関数の増加・減少及び極大・極小を調べ、3次までの整関数のグラフがかけられるようになる。 ・関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・方程式・不等式への応用を扱う。 ・微分の逆の演算として不定積分を導入し、2次までの整関数の和・差・定数倍の不定積分や定積分を求めることができる。 ・定積分を用いて、直線や曲線で囲まれた部分の面積を求めることができる。 	

教科：数 学 科目：数学Ⅱ

作成様式

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>(1) ア 自然環境と歴史</p> <p>世界の歴史の舞台としての自然環境について、河川、海洋、草原、オアシス、森林などから適切な事例を取り上げ、地図や写真などを読み取る活動を通して、自然環境と人類の活動が相互に作用し合っていることに気付かせる。</p> <p>イ 日本列島の中の世界の歴史</p> <p>日本列島の中に見られる世界との関係や交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な事例を取り上げ、年表や地図などに表す活動を通して、日本の歴史が世界の歴史とつながっていることに気付かせる。</p> <p>ア ユーラシアの諸文明</p> <p>自然環境、生活、宗教などに着目させながら、東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパに形成された諸文明の特質とユーラシアの海、陸における交流を概観させる。</p>	<p>・ 年代の扱い方、紀年法、暦について理解する。古代文明の発生・滅亡の理由や原因や考察し、自分の考えをまとめる。</p> <p>【 人類の始まり 】</p> <p>・ 人類の登場と、農耕・牧畜による食料生産を基礎にして、人類が文明を築き、歴史時代へはいつていくありさまを地域ごとに概観し、各地域世界が形づくられていく過程を理解する。</p> <p>【 世界の諸地域の文明 】</p> <p>・ 東アジアの風土、諸民族、封建制度、漢字文化圏、儒教思想、律令体制、文治主義、冊封体制などを通して、日本を含む東アジアの文明の特質を理解する。</p> <p>【 アジアや北アフリカの文明 】</p> <p>・ 南アジア 西アジア・北アフリカの風土と諸民族、宗教的な特徴、伝統などから諸地域の文明に就いて理解する。</p> <p>【 ヨーロッパの文明 】</p> <p>・ ヨーロッパの風土と諸民族、ギリシア・ローマ文明の伝統、キリスト教の発展、封建社会などを通して、ヨーロッパの文明の特質を理解する。</p>	

学習指導要領	都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>イ 結び付く世界と近世の日本 大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアの接触と交流、アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制、大西洋世界の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容を扱い、16世紀から18世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本の対応を把握させる。</p> <p>(2) ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。</p> <p>エ アジア諸国の変貌と近代の日本 ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中での日本の動向を扱い、19世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。</p> <p>ア 急変する人類社会 科学技術の発達、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察させる。</p> <p>イ 世界戦争と平和 帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。</p>	<p>【 大航海時代と新たな国家の形成 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ルネサンスと宗教改革、新航路の開拓などにふれ、16世紀頃から始まった世界の一体化への動きと新たなヨーロッパの枠組みとなった主権国家体制の形成について理解する。またアジアの繁栄についても理解する。 アメリカ諸国の独立、フランス革命、産業革命、拡大する貿易活動などを通して、西ヨーロッパとアメリカに産業社会が成立し、市民社会および国民国家の形成が進行したことを理解する。 交通革命、マスメディアの発達、企業や国家の巨大化、社会の大衆化と政治や文化の変容、公教育の普及と国民統合などを通して、20世紀という時代の特徴を把握するとともに、欧米諸国によるアジア・アフリカの植民地化をめぐる競合と人口移動から、世界の支配・従属関係を伴う一体化と社会の変容を理解する。 第一次世界大戦と総力戦としての様相、ロシア革命、ソヴィエト連邦の成立、戦争と革命による国際秩序の変化、アメリカの大衆生活とその波及を通して、20世紀初頭の変化の様相を理解する。

学習指導要領	都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>ウ 三つの世界と日本の動向</p> <p>第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。</p> <p>エ 地球社会への歩みと課題</p> <p>1970年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。</p> <p>オ 持続可能な社会への展望</p> <p>現代世界の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p> <p>(3) 地球社会と日本</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響を理解し、平和の意義などについて考察する。2部1章2節とあわせて20世紀前半の国際政治の流れを概観し、国際関係の変遷と社会の特質を理解する。 ・ 冷戦終結後の世界の政治・経済の動向について理解するとともに、日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向を模索し、国際社会における日本の役割について考察する。

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>(1) 宇宙に おける 地球</p>	<p>ア 宇宙の構成</p> <p>(ア) 宇宙のすがた 宇宙の誕生と銀河の分布について理解すること。</p> <p>(イ) 太陽と恒星 太陽の表面の現象と太陽のエネルギー源及び恒星としての太陽の進化を理解すること。</p> <p>イ 惑星としての地球</p> <p>(ア) 太陽系の中の地球 太陽系の誕生と生命を生み出す条件を備えた地球の特徴を理解すること。</p> <p>(イ) 地球の形と大きさ 地球の形の特徴と大きさについて理解すること。</p> <p>(ウ) 地球内部の層構造 地球内部の層構造とその状態を理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙の始まりを学習し、ビッグバンや宇宙の晴れ上がりについて理解する。かつビデオを使用し視覚的に生徒に理解させる。 ・宇宙の広がりや銀河の分布を学習し、宇宙の大規模構造について理解する。 ・太陽のエネルギー源や太陽の表面現象について学習し、太陽の構造について理解する。 ・太陽系の構造と誕生について学習し、太陽系がどのように形成されたのかを理解する。 ・地球の形や大きさについて学習する。 ・地球型惑星および月のそれぞれの特徴について学習する。 ・地球の層構造を学習し、表面と内部の性質の違いを理解する。

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>(2) 変動する地球</p>	<p>ア 活動する地球</p> <p>(ア) プレートの運動 プレートの分布と運動及びプレート運動に伴う大地形の形成について理解すること。</p> <p>(イ) 火山活動と地震 火山活動と地震の発生の仕組みについて理解すること。</p> <p>イ 移り変わる地球</p> <p>(ア) 地層の形成と地質構造 地層が形成される仕組みと地質構造について理解すること。</p> <p>(イ) 古生物の変遷と地球環境 古生物の変遷と地球環境の変化について理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プレートとプレートの動き，トランスフォーム断層プレートテクトニクスについて理解する。 ・火山 の形と噴火の様式について学習する。 ・地震のおこるしくみと震源断層の規模と位置について学習する。 ・河川の働きと地層の形成について学習する。 ・化石のでき方および示相化石と示準化石を学習する。

学習指導要領	都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>ウ 大気と海洋</p> <p>(ア) 地球の熱収支 大気と海洋の構造と地球全体の熱収支について理解すること。</p> <p>(イ) 大気と海水の運動 大気の大循環と海水の運動及びそれらによる地球規模の熱の輸送について理解すること。</p> <p>エ 地球の環境</p> <p>(ア) 地球環境の科学 地球環境の変化を科学的に考察すること。</p> <p>(イ) 日本の自然環境 日本の自然環境を理解し、その恩恵や災害など自然環境と人間生活とのかかわりについて考察すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽放射と地球放射について理解する。 ・大気のエネルギー収支を理解し、大気の温室効果について考察する。 ・大気の組成、大気の圧力、大気圏の構造を学習する。 ・エルニーニョ現象とラニーニャ現象について理解する。 ・気団や季節風、日本の天気の特徴を理解する。 ・日本の自然景観と水資源の関わりについて理解する。

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>(1) 物体の運動とエネルギー</p>	<p>ア 運動の表し方</p> <p>(ア) 物理量の測定と扱い方 身近な物理現象について、物理量の測定と表し方、分析の手法を理解すること。</p> <p>(イ) 運動の表し方 物体の運動の表し方について、直線運動を中心に理解すること。</p> <p>(ウ) 直線運動の加速度 物体が直線上を運動する場合の加速度を理解すること。</p> <p>イ 様々な力とその働き</p> <p>(ア) 様々な力 物体に働く力のつり合いを理解すること。</p> <p>(イ) 力のつり合い 物体に様々な力が働くことを理解すること。</p> <p>(ウ) 運動の法則 運動の三法則を理解すること。</p> <p>(エ) 物体の落下運動 物体が落下する際の運動の特徴及び物体に働く力と運動の関係について理解すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物理に必要な計算を最初に学習する。 ・自然の物理的な事物や現象の因果関係を正しく理解できる。 ・等速直線運動の向きや速度、加速度といった、運動の基礎となる量を理解し、それらを組みあわせて運動を物理学的に理解できる。 ・動きを調べる際の基準点を変えても、運動を正しく表現できる。 ・運動の原因となる力を探る過程を通して運動の法則を理解し、さらに未知の運動を解くことができる。 ・運動に関する物理学の量的関係と向きに関する関係を理解し、運動の法則に基づき、さまざまな運動の規則性を見つけることができる。 ・運動の法則に基づき、さまざまな運動を再現することができる。

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>ウ 力学的エネルギー</p> <p>(ア) 運動エネルギーと位置エネルギー 運動エネルギーと位置エネルギーについて、仕事と関連付けて理解すること。</p> <p>(イ) 力学的エネルギーの保存 力学的エネルギー保存の法則を仕事と関連付けて理解すること。</p> <p>ア 熱</p> <p>(ア) 熱と温度 熱と温度について、原子や分子の熱運動という視点から理解すること。</p> <p>(イ) 熱の利用 熱の移動及び熱と仕事の変換について理解すること。</p> <p>イ 波</p> <p>(ア) 波の性質 波の性質について、直線状に伝わる場合を中心に理解すること。</p> <p>(イ) 音と振動 気柱の共鳴、弦の振動及び音波の性質を理解すること。</p>	<p>• ものを楽に運ぶ工夫、道具の使い方などを比較し、仕事をする能力について、位置、運動、熱といった一見異なるエネルギー間に換算できる量的法則性があることを理解できる。</p> <p>• 運動、熱について個々の量的関係を理解できる。</p> <p>• 運動、熱についての事象に共通するエネルギーというとらえ方を理解できる。</p> <p>• 波動現象を、物理量で表現することができる。</p> <p>• 波動現象を表すグラフの意味を、実際の現象と照らし合わせて説明できる。</p> <p>• 音の性質を、物理現象として説明できる。</p> <p>• 波動現象を再現でき、波動として特徴あるふるまいを指摘でき、グラフでも表現できる。</p>	

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>ウ 電気</p> <p>(ア) 物質と電気抵抗 物質によって抵抗率が異なることを理解すること。</p> <p>(イ) 電気の利用 交流の発生、送電及び利用について、基本的な仕組みを理解すること。</p> <p>エ エネルギーとその利用</p> <p>(ア) エネルギーとその利用 人類が利用可能な水力、化石燃料、原子力、太陽光などを源とするエネルギーの特性や利用などについて、物理学的な視点から理解すること。</p> <p>オ 物理学が拓く世界</p> <p>(ア) 物理学が拓く世界 「物理基礎」で学んだ事柄が、日常生活やそれを支えている科学技術と結び付いていることを理解すること。</p>	<p>・電気に関する基本的な概念や原理・法則を理解できる。</p> <p>・電気の基本的な概念や原理・法則を用いて系統的に考察し表現できる。</p> <p>・抵抗の接続の学習し、かつ実際に実験で確認する。</p> <p>・現代の文明生活に、物理学の発展がどのような影響をもたらしているのかを調べようとしている。</p> <p>・どのような物理学の発展が、具体的にどのような場面で使われているのかを指摘することができる。</p>	

学習指導要領		北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>A 話すこと・聞くこと</p>	<p>ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>目的や場に応じて、分かりやすく適切な言葉で話すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何のために誰に向かって話すのかを考えて、言葉を選んで話すことができる。 ・話し方や話す態度に気をつけて、効果的な発言を行うことができる。
<p>B 書くこと</p>	<p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。</p> <p>ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p> <p>エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価や相互評価を通して、自分の話し方や言葉遣いを見直し、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気づくことができる。 ・自分とは異なる意見についても尊重し、考え方の幅を広げることができる。 ・相手や場に応じた言葉の使い方について、自己や他者の良い点・直すべき点に気づくことができる。
<p>C 読むこと</p>	<p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誰に向かって何のために書くのか考え、題材や文章の形態にふさわしい文体や語句を用いて書くことができる。 ・与えられた題材に即して、自分が考えていることを的確に表現できる。 ・的確な語句を用いて書くことができる。 <p>・事実や事柄を具体的に説明できる</p> <p>・手順や理由などを順序だてて説明することができる。</p> <p>【現代文】</p> <p>文章の形態（小説・評論・随想）における表現の特色を意識しながら読むことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小説の表現を音読して味わうことができる。 ・論理的文章の構成について理解し、自分の表現に役立てることができる。

学習指導要領	北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p>	<p>・随想を通して筆者の考えを捉え、ものの見方、感じ方を豊かにすることができる。</p> <p>【古典】 古文 比較的平易な文章について、文章の形態の違いを知り、表現技法や語句の使い方に注意して読むことができる。 ・歴史的仮名遣いに注意して音読することができる。 ・古典独自の言葉遣いや技法、表現方法について理解することができる。 ・物語・随筆などのジャンルの違いを意識して、それぞれの作品を読むことができる。</p> <p>漢文 ・漢文の基本的なきまり（訓点・再読文字・置き字）に従って音読することができる。 ・漢詩のきまりを理解することができる。 ・漢詩の内容を理解し、味わうことができる。</p> <p>【現代文】 文脈を捉え、筆者の考えを読み取ることができる。 ・文章中のキーワードを指摘することができる。 ・文章中の指示語や接続詞を意識して読むことができる。</p> <p>【古典】 比較的平易な文章を傍訳などの助けを得ながら、読み取ることができる。</p> <p>古文 古文と現代文の違いを意識しながら、文章を読み取ることができる。</p> <p>漢文 訓点や助字・置き字（而・於）に注意して、文章を読み取ることができる。</p> <p>【現代文】 登場人物を押さえ、行動や性格・心情の変化を捉えることができる。</p> <p>小説などで ・各場面で登場人物の言動や心情などを読み取るこ</p>

学習指導要領	北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p> <p>オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p>	<p>とができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 比喩表現から状況や心情を捉えることができる。 <p>【古典】 比較的平易な文章の場面や人物を押さえ、誰がどうしたという流れを読み取ることができる。</p> <p>古文 人物（誰が）・場面（いつ、どこで）・出来事（何を、どうした）を読み取ることができる。</p> <p>漢文 ・ 説話文を読んで 人物（誰が）・場面（いつ、どこで）・出来事（何を、どうした）を読み取ることができる。 ・ 漢詩を読んで 詩に読まれた心情を読み取り、人生について考えを深めることができる。</p> <p>様々な形態・内容・分野の本や文章を読み、そこから得た情報を評価し、自分の考えをもつことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 読んだ本や文章から、必要な情報を読み取り利用することができる。 ・ 読んだ文章を評価することを通して、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気付くことができる。
伝	

学習指導要領		北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に 関 す る 事 項</p>	<p>ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p> <p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p>	<p>日本の伝統的な言語文化について基本的な事柄を知り、また外国の文化の影響に気付くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な古典知識（月の異名・十二支など）を知る。 ・中国の文字や書物の影響のうち基本的なもの（故事成語など）を知る。 ・漢詩が日本の文学に与えた影響について知る。 <p>基本的な文語のきまり・訓読のきまりを理解し、文章の音読や読解を行うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いを理解する。 ・訓点や置き字（於、而など）・句法（否定・使役など）について理解し、訓読したり書き下し文に改めたりすることができる。 ・漢詩の形式や、対句・押韻などについて知る。 <p>【現代文】 語句・語彙の構造的な仕組みとしての成り立ちについて基本的な事柄を知り、また、他の言語との比較から明らかになる表現の特色や、社会における言語の役割について基本的な事柄に気付き、活用することができる。</p> <p>《具体的な設定例》 熟語の構成における主述関係や修飾、被修飾の関係を理解する。</p> <p>【古典】 言葉の歴史的な成り立ちと変遷、語彙の歴史的な経緯について基本的な事柄を知る。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いを理解して古文を正しく読むことができる。 ・基本的な古今異義語（うつくし・をかしなど）の意味の違いを知る。 ・漢詩における表現の特色を捉えることができる。 <p>【現代文】 文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて基本的な事柄を知り、活用することができる。</p>

学習指導要領	北豊島工業高校 学カスタンダード
<p>ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>	<p>《具体的な設定例》 比較的平易な文章について、語句の意味・用法を理解する。</p> <p>常用漢字の大体を読み、書くことができ、文章の中で使うことができる。</p>

学習指導要領		都立北豊島工業高校 学カスタンダード
聞くこと	ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・英文の大まかな内容を聞き取ることができる。 ・文脈に即して、代名詞や指示代名詞の指す「人・事・物」を判別できる。 ・JET、ALT、教員、生徒による授業内での実際の対話を聞き、「いつ、誰が、何を、どうした」と簡潔にまとめて、口頭で表現できる。
読むこと	イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ・英文の要点やトピックセンテンスを捉えることができる。 ・文脈に即して、代名詞や指示代名詞の指す「人・事・物」を判別できる。 ・文章理解のためのヒントになるフレーズ、キーワード、単語、文章等を、英文中から探し当てることができる。 ・文中に未知の語句があっても、絵や図を参考にし、推測しながら文章の要点を捉えることができる。 ・単語の発音や基本的な文章のリズムやイントネーションに気を付けて、十分な声の大きさとで話すことができる。 ・適切な発音、イントネーションで英文を音読することができる。
話すこと	ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・英語コミュニケーションの際に、沈黙をさけ、正しい英文法でなくても発話を試みることができる。 ・各単元のターゲット英文法を用いて、実際に自らにまつわることを英語で話すことができる。 ・JET、ALT、教員、生徒による授業内での実際の対話を聞き、「いつ、誰が、何を、どうした」と簡潔にまとめて、口頭で表現できる。
書くこと	エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で習った英文や、英語表現をモデルとして活用し、実際に自らにまつわることを英語で書くことができる。 ・英文を読んだり、聞いたりした際に、キーワードとして文字に起こしたメモを元に、トピックセンテンスの復元や要点整理の英作文ができる。

学習指導要領	都立北豊島工業高校 学カスタンダード
	<ul style="list-style-type: none"> 各単元のターゲット英文法を用いて、「いつ、誰が、何を、どうした」と簡潔にまとめて表現できる。

学習指導要領		都立〇〇高校 学カスタンダード
聞くこと	ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・英文の要点やトピックセンテンスを捉えることができる。 ・文脈に即して、代名詞や指示代名詞の指す「人・事・物」を判別できる。 ・JET、ALT、教員、生徒による授業内での実際の対話を聞き、「いつ、誰が、何を、どうした」と簡潔にまとめて、口頭で表現できる。
読むこと	イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ・英文の要点やトピックセンテンスを捉えることができる。 ・文脈に即して、代名詞や指示代名詞の指す「人・事・物」を判別できる。 ・文章理解のためのヒントになるフレーズ、キーワード、単語、文章等を、英文中から探し当てることができる。 ・文中に未知の語句があっても、絵や図を参考にして、推測しながら文章の要点を捉えることができる。 ・単語の発音や基本的な文章のリズムやイントネーションに気を付けて、十分な声の大きさと話することができる。 ・適切な発音、イントネーションで英文を音読することができる。

学習指導要領		都立〇〇高校 学カスタンダード
話すこと	<p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語コミュニケーションの際に、沈黙をさげ、100%完全無欠の正しい英文法でなくても発話を試みることができる。 ・各単元のターゲット英文法を用いて、実際に自らにまつわることを英語で話すことができる。 ・JET、ALT、教員、生徒による授業内での実際の対話を聞き、「いつ、誰が、何を、どうした」と簡潔にまとめて、口頭で表現できる。

学習指導要領		都立〇〇高校 学カスタンダード
書くこと	<p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で習った英文や、英語表現をモデルとして活用し、実際に自らにまつわることを英語で書くことができる。 ・英文を読んだり、聞いたりした際に、キーワードとして文字に起こしたメモを元に、トピックセンテンスの復元や要点整理の英作文ができる。 ・各単元のターゲット英文法を用いて、「いつ、誰が、何を、どうした」と簡潔にまとめて表現できる。

学習指導要領		北豊島工業高校 学力スタンダード
<p>(1) ア 式と証明</p> <p>い (ア) 整式の乗法・除法、分数式の計算</p> <p>ろ 三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすること。また、整式の除法や分数式の四則計算について理解し、簡単な場合について計算をすること。</p> <p>い (イ) 等式と不等式の証明</p> <p>ろ 等式や不等式が成り立つことを、それらの基本的な性質や実数の性質などを用いて証明すること。</p> <p>な イ 高次方程式</p> <p>式 (ア) 複素数と二次方程式</p> <p>式 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること。また、二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。</p> <p>式 (イ) 因数定理と高次方程式</p> <p>式 因数定理について理解し、簡単な高次方程式の解を、因数定理などを用いて求めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3次の乗法公式及び因数分解の公式を理解すると共に、それらを用いて式の展開や因数分解ができる。 ・ 整式の除法ができるとともに、整式の除法の関係式が理解できる。 ・ 分数式の四則計算について理解し、簡単な計算をすることができる。 ・ 恒等式、等式の証明、不等式の基本性質を用いた式の証明や相加平均・相乗平均の関係などの理解を深めさせる。 ・ 負の数の平方根を考えることにより、数の範囲を実数から複素数の範囲まで拡張する。 ・ 複素数の四則計算ができるようになる。 ・ 2次方程式の解を判別することができる。 ・ 2次方程式の解と係数の関係が理解でき、利用することができる。 ・ 2次式を複素数の範囲で因数分解することができる。 ・ 剰余の定理・因数定理について理解し、因数定理を用いて3次式を因数分解することができる。 ・ 簡単な高次方程式を、因数分解（因数定理を含む）を用いて解くことができる。 	
<p>(2) ア 直線と円</p> <p>図 (ア) 点と直線</p> <p>形 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。また、座標平面上の直線を方程式で表し、それを二直線の位置関係などの考察に活用すること。</p> <p>と</p> <p>方</p> <p>程</p> <p>式</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2点間の距離が求められる。 ・ 内分点や外分点と座標の関係が理解できる。 ・ 直線が1次方程式で表されることがわかり、求められる。 ・ 2直線の位置関係を調べ、平行条件・垂直条件を理解することができる。 ・ また、それらを活用して直線図形の解析的な考察ができるようになる。 	

学習指導要領	北豊島工業高校 学力スタンダード
<p>(イ) 円の方程式 座標平面上の円を方程式で表し、それを円と直線の位置関係などの考察に活用すること。</p> <p>イ 軌跡と領域 軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めること。また、簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・円が x, y の2次方程式で表されることがわかり、円の方程式や中心の座標、半径が求められる。 ・円と直線の共有点の座標を求めることができる。 ・円と直線の位置関係が2次方程式の判別式によって調べられることが理解できる。 ・円の接線の方程式を求めることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・軌跡の意味がわかり、与えられた条件を満たす軌跡の方程式を求めることができる。 ・直線や円で分けられる領域と不等式の関係が理解できる。 ・連立不等式の表す領域を図示することができる。

教科：数 学 科目：数学Ⅱ

作成様式